

第14回 持続的生存圏創成のためのエネルギー循環シンポジウム
 –マイクロ波高度利用と先端分析化学–

第7回 先進素材開発解析システム(ADAM)シンポジウム
 –マイクロ波高度利用生存圏フラッグシップ共同研究–

平成29年 11月27日 (月) 13:00–18:00

京都大学 宇治キャンパス

生存圏研究所木質ホール3F・宇治おうばくプラザ2F ハイブリッドスペース

プログラム

講演会：生存圏研究所 木質ホール3階

13:00–13:05 開会の辞 渡辺 隆司 (京都大学 生存圏研究所)

13:05–13:45 招待講演「free-standing ナノシートを用いたナノオブジェ」
 木村 俊作 (京都大学大学院 工学研究科)

13:45–14:25 招待講演「イオン液体を用いたバイオリファイナー」
 高橋 憲司 (金沢大学 理工研究域)

14:25–15:05 招待講演「藻類炭化水素ボトリオコッセンの化学変換」
 川島 英久、木島 正志 (筑波大学 数理物質系)

15:05–15:20 休憩

15:20–16:00 招待講演「パワー半導体デバイスを用いたマイクロ波サイエンス(有効植物育成、水処理、インテリジェント電子レンジの開発を例に)」
 堀越 智 (上智大学 理工学部)

16:00–16:40 招待講演「エステル化におけるマイクロ波効果」
 小島 秀子 (早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構)

16:40–16:45 閉会の辞 篠原 真毅 (京都大学 生存圏研究所)

17:00–18:00 ポスターセッション (宇治おうばくプラザ2階 ハイブリッドスペース)

主催：京都大学 生存圏研究所

協賛：日本電磁波エネルギー応用学会

来聴歓迎